

授業科目 アスレティックトレーナー現場実習

【担当教員名】 榎木聖也	対象学年	4	対象学科	健康スポーツ学科
	開講時期	前期	必修・選択	自由
	単位数	4	時間数	180

【<概要>又は<一般目標：GIO>】
アスレティックトレーナーに必要とされる知識と技術を、実際にスポーツ現場で展開し、より実践力のあるアスレティックトレーナーを目指すための実習である。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】
アスレティックトレーナーを目指す学生にとって、最後に修得べきは、それまでに教室などで学び身につけた知識と技術を、実際に自分が将来活動するであろう場、つまりスポーツの現場で実践的に展開し活用する能力である。本実習では、この能力を修得するために、日体協公認アスレティックトレーナーまたはスポーツドクターが活動しているスポーツ現場へ参加し、そこで必要とされる様々なアスレティックトレーナーとしての知識と技術を自分のものとして定着させることを学習目標とする。具体的には、180時間以上という相当のボリュームのある実習

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
			<p>本実習での具体的な学習内容は、下記の通りである。</p> <p>①見学実習 ②検査・測定と評価実習 ③アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習 ④スポーツ現場実習（ストレッチング、テーピング、応急処置等） ⑤アスレティックリハビリテーション実習（プログラム作成、実施等） ⑥総合実習</p> <p>上記の内容を、日体協公認アスレティックトレーナーまたはスポーツドクターのいる病院・クリニック・スポーツチームで学習する。単一の施設・組織で完結するのではなく、性格の異なる複数の現場で実習を行うことが望ましい。トータルでの学習時間はのべ180時間以上と定められているが、一日の最大学習時間は3時間、一週間の最大学習日数は5日間という形で上限が定められているため、履修には相当の期間が必要であるという点を念頭に置いて欲しい。</p>

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
--------	-----------

健康スポーツ学科 専門